



にこにこ通信



★保育コンシェルジュ通信★ 令和4年度 1号

令和4年度も保育コンシェルジュの2人が高砂市の教育・保育施設や子育て情報取材し“にこにこ通信”で発信していきたいと思えます。第1号は、新園舎が完成したみどり丘こども園をご紹介します。高砂北条線新幹線の南側の道を西に向かって進むと、一面深緑の目をひく建物が見えてきます。園の前には広い駐車場があるので車での送迎も安心です。



“大きな家族 みんな家族”の基本理念のもと、園長先生をはじめ、先生方がたくさんの時間をかけて何度も打ち合わせを重ねて細部までこだわった新園舎が完成し、4月30日に落成式が行われました。新園舎が完成するまで約1年間の工事過程を旧園舎から見ていたこどもたち。大きな重機が園庭に入るとこどもたちは大興奮。大好きな“はたらくくるま”が近くで働いている様子を見たり、キリンの首より長いクレーン車が鉄骨を吊り下げている様子を見たり、そこで働く方々の姿を見ながらあいさつを交わしたりと、とても貴重な経験をしたそうです。



おくざしき

玄関を入ると園庭につながるウッドデッキがあり、園庭からの心地よい風が吹きぬけます。玄関ホールの階段下スペースにはベンチと畳があり、登降園時に保護者の方と過ごせるほっこりスペースになっていました。1階には3、4、5歳児の保育室と調理室があります。

また、各保育室の壁は、落ち着いた茶色、マスタード、鮮やかなオレンジなど異なる色を使用し、こだわりが感じられます。ネームプレートや換気扇のダクトの形など遊び心があふれており、次はどんな部屋かな？壁は何色だろうと見て周りながらワクワクしました。こどもたちも、初めて園舎に入ったときはこんな気持ちだったのかなと思いながら見学させて頂きました。



次は調理室です。“食育”を大切にされているみどり丘こども園の最大のこだわりポイントが、大きな窓があるキッチンです。窓がこどもの目線の高さになっているので調理の様子がよく見えます。こどもたちに人気の場所で、大きな回転鍋の前には行列ができるそうです。キッチンの前の“食育ステーション”には、本物さながらのミニキッチンがあり、クッキングや給食のお手伝いができます。給食の美味しい匂いは換気扇を通して園庭に流れ、「今日の給食は何かな」とこどもたちの食欲をそそる工夫がされていました。



2階は、0、1、2歳児の保育室とホールがあります。生活スペース、遊びのスペース、トイレ、調乳室等、導線を考え工夫された保育室があり、赤ちゃんたちがゆったりとした時間をすごしていました。また、屋根の傾斜を活かしたホールの大きな窓からは新幹線の走る様子が見える特等席があるので電車好きのこどもには魅力的ですね。



ここにいるよ♪



木のぬくもりにつつまれ、天井を低くすることで落ち着いたあたたかい空間になっていました。また、ちょっとしたスペースにベンチがあったり、かくれんぼができる小部屋があったりと、先生方がこどもの目線で考え、工夫された園舎になっていました。

「子どもたちがどんな風に新園舎で遊んでくれるのかとても楽しみです。園庭にはこれから植栽が入る予定です。園舎はまだまだ進化中です。」と園長先生。
先生方の思いがたくさん詰まった園舎に子どもたちのドキドキ、ワクワクが混ざり合っているいろんな色に変化中のみどり丘こども園のこれからが楽しみです。



🔪園長先生にインタビュー

★みどり丘こども園の魅力を教えてください。

「みどり丘こども園では、異年齢交流を大切にしています。今は、コロナ禍で交流の機会は減っていますが、新園舎では、自然と異年齢の交流ができる間取りや環境づくりを心掛けて設計されています。異年齢の交流を通して、年長クラスの活動の様子を見て憧れや期待をもったり、小さいおともだちのお世話をし思いやる気持ちが芽生えたりしています。みどり丘こども園の子どもたちはとても仲良く、卒園して小学生・中学生になっても仲間意識が強いです。」と熱い思いを語っていただきました。

★給食の人気メニューを教えてください。

「カレーライス、とりのオーロラ煮、鮭のごまだれ焼き」などが人気メニューです。



